

北海道東部の膜翅目 - アリ科 -

Notes on ants (Hymenoptera: Formicidae) from Eastern Hokkaido

飯島 一雄^{※1}・土屋 慶丞^{※2}

Kazuo IJIMA^{*1}, Keisuke TSUCHIYA^{*2}

はじめに

筆者の一人、飯島はアリについても生涯かけて収集し、同定の困難な種は山根正気氏・喜田和孝氏・市川顕彦氏に同定をお願いした。三方に心から感謝申し上げる。

標本のデータの読取りや整理は土屋が行い「原標本」膜翅目No.6と7の2箱に整理した。生息地の写真は太崎恵美子氏による。標本は釧路市立博物館へ寄贈・収蔵する。

研究小史

道東部の記録は前田惣一(1956)が初めてで、厚岸町から16種を記録している。宮下敏幸・生方秀紀(1995)は釧路市春採湖畔から11種を記録した。益子嘉隆(1996)は雄阿寒岳・雌阿寒岳で13種を記録した。喜田和孝(2003)は斜里町から24種を記録している。

朝比奈英三は1968年2月8日から20日にかけて標茶町二ツ山で越冬昆虫の耐凍性調査を行い、ムネアカオオアリについても記録している。山根正気は2009年8月29日に飯島の「昆虫の棲む森」でアリ類のコロニーを調べ、翌30日は飯島の案内で西別岳においてコロニーの調査を行った。コロニーの観察記録は飯島と山根氏によるものである。

凡例

- 1) 採集者名は採集年月日の後ろに括弧書きして謝意とした。明記ない標本は飯島一雄によるものである。
- 2) 採集地の地名は標本採集時のラベルにしたがった。市町村名は一番初めに出てくる地名にのみ付し、2回目以降は省略した。
- 3) 学名、和名及び配列は「日本産アリ類全種図鑑」(寺山ほか2014)を参考にした。

標本目録

原標本膜翅目No.6

Formicidae アリ科

Myrmicinae フタフシアリ亜科

1. *Stenamma nipponense* Yasumatsu & Murakami

ヒメナガアリ

※1 標茶町二ツ山 Futatsuyama, Shibe-chachō, Kawakami-gun, Hokkaido, 088-2335 ※2 釧路市立博物館 Kushiro City Museum

斜里町から記録されている(喜田2003)。

2. *Manica yessensis* Azuma ツヤクシケアリ
雄阿寒岳から記録されている(益子1996)。
3. *Myrmica jessensis* Forel エゾクシケアリ
釧路市鶴見橋: 1w, 18 VI 2000; 釧路町細岡: 1w, 10 VIII 2000; 標茶町中オソベツ: 3w, 18 V 1999; 標茶町二ツ山: 8w, 31 VIII 2009; 音更町千代田: 1w, 30 VII 2003; 清水町清水大橋: 1♀4w, 3 IX 2003(北開水工); 中札内村上札内: 6w, 24 VII 2003(北開水工); 豊頃町イトイツキ: 11w, 16 VI 2005; 北見市豊地: 1♀, 6 IX 1999; 同: 1w, 1 X 1999(北開水工); 北見市豊地大橋: 1w, 6 IX 1999(北開水工); 北見市無加川: 2w, 6 IX 1999; 北見市若松大橋: 1w, 8 VI 2004; 紋別市中渚滑: 2w, 27 VII 2006; 美幌町大正橋: 2♀, 10 IX 1998(北開水工); 上湧別町開盛橋: 3w, 28 VII 2000。
斜里町(喜田2003)、春採湖(宮下・生方1995)から記録されている。筆者(飯島)の前庭の草地には巣が多くみられる(写真1)。硬く踏みかためられた砂地を好む。朽木や畑地からは見つからなかった。
4. *Myrmica kurokii* Forel クロキクシケアリ
阿寒町雄阿寒岳(頂上): 10w, 22 VIII 2000; 中標津町武佐岳: 1w, 7 X 1999; 斜里町斜里岳(頂上): 1w, 11 IX 1999。
斜里岳(喜田2003)、雄阿寒岳(益子1996)から記録されている。
5. *Myrmica luteola* Kupyanskaya オモビロクシケアリ
春採湖畔から記録されている(宮下・生方1995)。山根正気氏は西別岳登山道(標高650~799m)脇の朽木中から発見した(コロニーの観察記録を参照)。
6. *Myrmica onoyamai* Radchenko & Elmes
オノヤマクシケアリ
北見市金比羅: 1w, 22 VII 2004(北開水工); 置戸町置戸湖: 1w; 置戸町林友橋: 1w, 7 IX 1999; 置戸町鹿の子ダム: 3w, 8 VII 1999。
7. *Myrmica ruginodes* Mylander (s.l.)
ハラクシケアリ隠蔽種群
釧路市安原: 2w, 21 VII 2005(北開水工); 鶴見橋: 1w, 6 VIII 2000; 雄阿寒岳(頂上): 3w, 10

VII 2000; 標茶町中オソツベツ: 12w, 18 V 1999; ニツ山: 1♀, 6 IX 2007; 同: 2w, 19 IX 2007; 同: 3w, 2 IX 2009; 同: 1w, 10 IX 2009; 同: 2w3exs., 11 IX 2009; 標茶町南標茶: 1w, 7 IX 2000; 弟子屈町朝日: 4w, 15 VI 2000(名嘉真郁子); 同: 3w, 3 VIII 2000(名嘉真郁子); 上札内: 3w, 24 VII 2003(北開水工); 足寄町中足寄: 2w, 12 VIII 1999; 若松大橋: 2w, 22 VII 2004(北開水工); 網走市嘉多山キャンプ場: 2w, 27 VII 1998; 同: 3w, 11 IX 1998(北開水工); 網走市新橋: 2w, 11 IX 1998(北開水工); 中渚滑: 5w, 27 VII 2006(北開水工); 紋別市渚滑橋: 1w, 27 VII 2006; 大正橋: 3w, 11 IX 1998(北開水工); 津別町達媚橋: 3w, 11 IX 1998(北開水工); 鹿の子ダム: 92w, 23 VII 2004; 同: 6w, 23 VII 2004(北開水工); 同: 3w, 6 IX 2004(北開水工); 同: 1w, 10 IX 2004(北開水工); 同: 2w, 11 IX 2004(北開水工); 開盛橋: 4w, 28 VII 2000.

かつてはシワクシケアリ *M. kotokui* Forel とよばれる1種のアリとして扱われていた。形態的に著しく近似する少なくとも5種が混在する(寺山ほか2014)。斜里町(喜田2003)、雄阿寒岳・雌阿寒岳(益子1996)、春採湖(宮下・生方1995)から記録されており、各地に広く生息している。植物の根もとに巣が見られる。植物上にも生息する。首から入ると圧迫された時に噛みつく。ハチに劣らぬ激痛がある。ゴマシジミの幼虫のホストとしても知られている。

8. *Myrmica taediosa* Bolton ツボクシケアリ
置戸湖: 2w, 23 VII 2004.
斜里岳から記録されている(喜田2003)。西別岳登山道(標高650~799m)脇の朽木中から発見された(山根2009)。
9. *Myrmica yezomonticola* Terayama キタクシケアリ
雄阿寒岳(8合目): 6w, 1 VIII 2001; 同(5合目~頂上): 1♀, 10 VIII 2000; 北見市金比羅橋: 3w, 9 IX 2004(北開水工)。
10. *Aphaenogaster famelica* Smith アシナガアリ
斜里町(喜田2003)、雄阿寒岳(益子1996)から記録されている。
11. *Aphaenogaster japonica* Forel ヤマトアシナガアリ
雄阿寒岳から記録されている(益子1996)。
12. *Pheidole fervida* Smith アズマオオズアリ
金比羅橋: 3w, 2 IX 1999.
斜里町から記録されている(喜田2003)。
13. *Tetramorium tsushimae* Emery トビイロシワアリ
斜里町から記録されている(喜田2003)。
14. *Leptothorax acervorum* (Fabricius) タカムネボソアリ
中オソツベツ: 1w, 22 IX 2000(名嘉真郁子); 清水大橋: 1w, 24 VII 2003(北開水工)。
15. *Temnothorax congruous* (Smith) ムネホソアリ

紋別市上渚滑: 1w, 5 IX 2001.

16. *Temnothorax spinosior* (Forel)
ハリナガムネボソアリ
士幌町士幌新橋: 1w, 4 IX 2003(北開水工); 鹿の子ダム: 1w, 26 VI 2010(北開水工); 開盛橋: 3w, 28 VII 2000; 同: 1w, 11 IX 2000(北開水工)。

Dolichoderinae カタアリ亜科

17. *Dolichoderus sibiricus* Emery シベリアカタアリ
細岡: 3w, 16 VI 2000; 若松大橋: 1♀, 17 VI 1999.
斜里町から記録されている(喜田2003)。

Formicinae ヤマアリ亜科

18. *Formica candida* Smith ツヤクロヤマアリ
釧路市春湖台: 4w, 19 VII 1999; ニツ山: 1♀, 28 IX 1987; 別海町走古丹: 1♂8w, 6 IX 2009; 同: 1w, 6 IX 2009(大崎恵美子); 別海町本別海: 4w, 9 VIII 2001; 武佐岳: 1♀, 7 X 1999; 千代田: 3w, 19 VI 2003(北開水工); 上士幌町ウベペサンケ山: 1w, 7 IX 2003(名嘉真郁子); 北見市上常呂: 1w, 1 X 1999; 金比羅橋: 1w, 18 VI 1999; 同: 1w, 9 X 2004(北開水工)。
斜里町(喜田2003)、春採湖畔(宮下・生方1995)から記録されている。
19. *Formica fukaii* Wheeler ツノアカヤマアリ
標茶町五十石: 3w, 25 IV 2013(小松佳幸)。

原標本膜翅目No. 7

Formicidae アリ科

Formicinae ヤマアリ亜科

20. *Formica japonica* Motschoulsky (s. s.) クロヤマアリ
鶴見橋: 5w, 18 VI 2000; 同: 5w, 21 IX 2000(名嘉真郁子); 細岡: 7w, 16 VI 2000; 同: 5w, 26 VI 2000(北開水工); 同: 12w, 10 VIII 2000; 同: 12w, 4 IX 2000; 五十石: 1w, 10 VI 2000(名嘉真郁子); 同(三ヶ月沼): 5w, 8 VIII 2000; 標茶町中茶安別: 5w, 30 V 1999; ニツ山: 2w, 14 IV 1997; 同: 4w, 14 IV 1999; 南標茶: 6w, 17 V 2000(名嘉真郁子); 同: 6w, 12 VI 2000; 同: 5w, 12 VI 2000(名嘉真郁子); 同: 3w, 13 VIII 2000(名嘉真郁子); 同: 3w, 7 IX 2000; 朝日: 1w, 19 V 2000(名嘉真郁子); 同: 3w, 15 VI 2000; 同: 2w, 3 VIII 2000(名嘉真郁子); 千代田: 1w, 19 VI 2003(北開水工); 中札内村上札内橋: 25w, 19 VI 2003(北開水工); 豊頃町旅来: 10w, 19 VI 2003(北開水工); 中足寄: 1w, 9 IX 1999; 金比羅橋: 3w, 18 VI 1999(北開水工); 同: 4w, 23 VI 1999(北開水工); 同: 2w, 5 IX 1999; 同: 9w, 8 IX 1999(北開水工); 同: 1w, 9 IX 2004(北開水工); 豊地: 13w, 8 IX

- 1999 (北開水工) ; 同 : 6w, 22 IX 1999 ; 同 : 4♀1w, 21 VII 2004 (北開水工) ; 豊地大橋 : 1w, 18 VI 1999 (北開水工) ; 同 : 1w, 5 IX 1999 ; 若松大橋 : 4w, 8 IX 1999 (北開水工) ; 嘉多山キャンプ場 : 1w, 11 IX 1998 (北開水工) ; 新橋 : 8w, 11 IX 1998 (北開水工) ; 鹿の子ダム : 1w, 3 VIII 1999 ; 中渚滑 : 2w, 10 VII 2001 ; 端野町忠志橋 : 2w, 10 VI 2004 (北開水工) ; 大正橋 : 6w, 10 IX 1998 (北開水工) ; 林友橋 : 3w, 7 IX 1999 ; 遠軽町遠軽橋 : 4w, 11 VI 2000 ; 同 : 2w, 12 VI 2000 ; 同 : 9w, 28 VII 2000 ; 同 : 2w, 11 IX 2000 ; 遠軽町 : 3w, 11 VI 2000 ; 同 : 6w, 28 VII 2000 ; 開盛橋 : 7w, 8 V 2000 (名嘉真郁子) ; 同 : 12w, 28 VII 2000 ; 同 : 4w, 28 VII 2000 (名嘉真郁子) ; 同 : 1♀, 7 IX 2000 (北開水工) ; 同 : 4w, 11 IX 2000 ; 上湧別町 : 4w, 1 VIII 2000 ; 富良野市学田 : 2w, 17 VII 1997 (北開水工) .
- 本州以南では形態的に区別の困難な隠蔽種が混在する (寺山ほか2014) 。斜里町 (喜田2003) 、阿寒町 (益子1996) 、春採湖 (宮下・生方1995) から記録されている。
21. *Formica lemani* Bondroit ヤマクロヤマアリ
二ツ山 : 11w, 31 VIII 2009 ; 雄阿寒岳 (5合目) : 6w, 10 VII 2000 ; 同 : 1w, 22 VIII 2000 ; 同 (5合目) : 1w, 25 VII 2001 ; 同 (8合目) : 6w1蛹, 1 VIII 2001 ; 忠志橋 : 1w, 22VI 1999 ; 斜里岳 (頂上) : 9w, 11 IX 1999 ; 鹿の子ダム : 1w, 3 VIII 1999 ; 同 : 3w, 8 VIII 1999 ; 林友橋 : 1w, 7 IX 1999 .
- 斜里町 (喜田2003) 、雄阿寒岳・雌阿寒岳 (益子1996) 、春採湖畔 (宮下・生方1995) から記録されている。
22. *Formica sanguinea* Latreille アカヤマアリ
阿寒町阿寒川上流 : 1♀, 2 VIII 1996 ; 細岡 : 1w, 8 VI 2005 ; 中渚滑 : 1♀, 10 VII 2001 ; 鹿の子ダム : 1♀, 3 VIII 1999 ; 開盛橋 : 3w, 28 VII 2000 (名嘉真郁子) .
- 斜里町 (喜田2003) 、雄阿寒岳 (益子1996) 、春採湖畔 (宮下・生方1995) から記録されている。
23. *Formica truncorum* Fabricius ケズネアカヤマアリ
二ツ山 : 9w, 31 VIII 2009 ; 本別町パンケ仙美里川 : 2w, 27 VI 1997 ; 足寄町更生 : 3w, 5 X 1999 ; 同 : 4w, 29 IX 2001 (名嘉真郁子) ; 清里町標津岳 : 3w, 2 VIII 2003 (名嘉真郁子) .
- 斜里町 (喜田2003) 、阿寒町 (益子1996) から記録されている。落ち葉などを集めてアリ塚を造る。塚が荒らされているとヒグマが近くにいる目安になる。二ツ山産のアリ塚を造るヤマアリはすべてケズネアカヤマアリと同定されている (喜田和孝氏同定) 。
24. *Formica yessensis* Wheeler エゾアカヤマアリ
筆者 (飯島) 宅前庭の石畳脇のコロニーはエゾアカヤマアリと同定された (山根2009) 。
25. *Lasius alienus* (Foerster) ヒメトビイロケアリ
安原 : 5w, 12 IX 2005 ; 五十石 : 3w, 6 IX 2005 ; 豊地大橋 : 1w, 5 IX 1999 ; 上渚滑 : 3w, 5 IX 2001 ; 渚滑橋 : 1w, 12 IX 2006 ; 鹿の子ダム : 3w, 26 VII 2004 .
26. *Lasius hayashi* Yamauchi & Hayashida
ハヤシケアリ
斜里町から記録されている (喜田2003) 。
27. *Lasius japonicus* Santschi トビイロケアリ
鶴見橋 : 2w, 18 VI 2000 ; 釧路市武佐 : 5♀2♂3w, 20 VII 2009 (大崎恵美子) ; 同 : 1♀, 24 VII 2000 (大崎恵美子) ; 五十石 (三ヶ月沼) : 3w, 3 VII 2000 ; 中オソツベツ : 6w, 18 V 1999 ; 二ツ山 : 4w, 13 IV 1971 ; 同 : 3w, 20 V 1999 ; 弟子屈町湯沼 : 9w, 24 XI 1999 (名嘉真郁子) ; 土幌新橋 : 4w, 4 IX 2003 (北開水工) ; 上札内 : 1w, 24 VII 2004 (北開水工) ; 豊地大橋 : 1♀, 5 IX 1999 ; 嘉多山キャンプ場 : 1w, 10 IX 1998 (北開水工) ; 1w, 11 IX 1998 (北開水工) ; 忠志橋 : 1w, 10 IX 2004 ; 大正橋 : 15w, 11 IX 1998 (北開水工) ; 達姫橋 : 2w, 11 IX 1998 (北開水工) ; 小清水町止別 : 2w, 2 X 1999 ; 鹿の子ダム : 3w, 8 VII 1999 ; 林友橋 : 1♀, 10 VIII 1999 ; 同 : 1w, 10 VIII 1999 (北開水工) ; 同 : 1w, 8 IX 1999 (北開水工) ; 遠軽町 : 1w, 28 VII 2000 ; 遠軽橋 : 1♀, 28 VII 2000 .
- 雄阿寒岳 (益子1996) 、春採湖畔 (宮下・生方1995) から記録されている。各地に広く生息している。特に家屋の周辺の木片、石の下などに巣が多い。夏季の一時期、家の内部に多数侵入するのは本種である。西別岳でも確認された (山根2009) 。
28. *Lasius fuji* Radchenko (s.l.) クロクサアリ隠蔽種群
標茶町シラルトロ : 13w, 29 IX 1999 ; 標茶町雷別 : 8w, 21 X 1999 ; 中茶安別 : 3w, 14 VI 1999 ; 朝日 : 8w, 15 VI 2000 ; 1w, 6 IX 2000 ; 3w, 7 IX 2000 ; 上渚滑 : 3w, 2 VI 2001 ; 同 : 1w, 26 VI 2001 ; 旅来 : 1w, 11 IX 1998 (北開水工) ; 紋別市渚滑町 : 3w, 2 VI 2001 ; 忠志橋 : 1w, 22 VI 1999 (北開水工) ; 達姫橋 : 3w, 11 IX 1998 (北開水工) ; 同 : 8w, 28 VII 2003 (北開水工) .
- 日本産のものは *L. fuji* とは別種で、クロクサアリ、オオクロクサアリ、コニシクロクサアリの3種から構成される (寺山ほか2014) 。斜里町から記録されている (喜田2003) 。ムモンアカシジミの幼虫のホストとして知られている。生木の根際に深く巣を造り、夏季の一時期に働きアリの大行列が続く。この行列は地面に置いた

ビニールハウスや地面にも続くことがある。樹上に上るものはアブラムシから蜜を求めるものである。

29. *Lasius nipponensis* Forel フシボソクサアリ
更生：2w, 29 IX 2001(名嘉真郁子)。
春採湖畔から記録されている(宮下・生方1995)。
30. *Lasius orientalis* Karavaiev テラニシケアリ
中茶安別：4w, 17 VII 1999; 遠軽町：1♀, 28 VII 2000.
31. *Lasius spathepus* Wheeler クサアリモドキ
武佐：3w, 24 VIII 2009; ニツ山：9w, 10 VIII 1999; 4w, 15 VIII 2003; 朝日：3w, 7 IX 2000; 足寄町新町：1♀2w, 12 VIII 1999(名嘉真郁子); 上湧別町：3w, 8 V 2000.
Lasius sp. クサアリ亜属
中オソツベツ：2♀, 6 IX 2005; ニツ山：1♂, 1 VII 2005; 土幌新橋：1♀, 3 IX 2003.
32. *Lasius flavus* (Fabricius) キイロケアリ
五十石：16w, 7 V 2000; 中オソツベツ：12w, 18 V 1999; ニツ山：2w, 5 VII 1999; 同：9w, 31 VIII 2009; 同：5♀4♂25w, 20 IX 2009; 南標茶：1w, 12 VI 2000; 朝日：1w, 6 IX 2005; 金比羅橋：2w, 23 VII 1999(北開水工); 同：3w, 1 X 1999; 大正橋：1♀, 10 IX 1998(北開水工); 同：3♀, 2 X 1999(北開水工); 止別：1w, 2 X 1999; 遠軽町：2♀, 11 IX 2000; 開盛橋：18w, 8 V 2000(名嘉真郁子); 同：3w, 11 IX 2000.
春採湖畔から記録されている(宮下・生方1995)。ニレなどの生木の根際に深く巣を造っている。時には谷内坊主の深部にも見られた(写真2)。
33. *Lasius meridionalis* (Bondroit)
ヒゲナガアメイロケアリ
標茶町開運：1♀1♂, 10 VIII 1981; 豊地：1w, 10 IX 2004(北開水工); 忠志橋：2w, 22 VII 1999; 同：2exs., 22 VII 1999(北開水工); 鹿の子ダム：2exs., 24 VII 1999(北開水工); 同：3w, 16 VII 2004(北開水工)。
34. *Lasius umbratus* Nylander アメイロケアリ
斜里町(喜田2003)、春採湖畔(宮下・生方1995)から記録されている。山根正気氏(2009)は筆者(飯島)の森の生木の根際から発見された。
35. *Paratrechina flavipes* (Smith) アメイロアリ
若松大橋：1w, 2 IX 1999; 忠志橋：1w, 23 VII 1999(北開水工); 達媚橋：2w, 11 IX 1998(北開水工)。
36. *Camponotus japonicas* Mayr クロオオアリ
阿寒町阿寒湖畔ボッケ：3w, 6 IX 1979; 同：2w, 17 IX 2003; 清水町剣山：2w, 16 VI 2005

(名嘉真郁子); 本別町愛のかけ橋：1w, 3 IX 2003; 鹿の子ダム：2w, 16 VI 2004(北開水工); 同：2w9exs., 26 VI 2010(北開水工); 林友橋：1♂, 21 VII 1999; 1♂, 10 VIII 1999。
斜里町から記録されている(喜田2003)。

37. *Camponotus obscuripes* Mayr ムネアカオオアリ
阿寒湖畔ボッケ：1♀, 12 VII 1982; 阿寒町雌阿寒岳(頂上)：1♂, 25 VII 2001; ニツ山：1♂, 26 IV 1966; 同：1w, 28 IV 1969; 同：7♀2w, 22 IV 1970; 同：2♂, 16 IV 1971; 同：1♀1w, 30 VII 1980; 同：1♀, 30 III 1981; 同：1♀, 30 IV 1981; 同：2♀, 12 VII 1982; 同：1♀, 12 IX 1991; 弟子屈町硫黄山：1♀, 26 VII 1986; 弟子屈町砂湯：1w, 25 VII 1991; 鹿の子ダム：1♂, 24 VII 1999(北開水工); 同：1w, 17 IX 2004(北開水工)。
斜里町(喜田2003)、雄阿寒岳(益子1996)から記録されている。各地の樹林帯に広く生息しており、特にミズナラの巨木内に営巣する(写真3)。ミズナラの巨木の無くなった最近では、カラマツの内部に巣を造るが大きなコロニーにはならない。本種はクマゲラの主食でもある(朝比奈1969, 飯島1992)。巣立った女王が好みの場所に着地すると、直ちに脚で翅を掻き落としその後営巣地を求める。このときバラック造りの筆者(飯島)宅にはたびたび室内へと侵入することがある。

38. *Camponotus sachalinensis* Forel
カラフトクロオオアリ
雄阿寒岳(頂上)：1w, 27 VII 1999; 同(5合目~頂上)：4w, 10 VII 2000(名嘉真郁子); 同(頂上)：3w, 22 VIII 2000; 同(8合目~頂上)：4w, 22 VIII 2000; 同(6~8合目)：2w, 1 VIII 2001(名嘉真郁子); 同(6~8合目)：2w, 1 VIII 2001; 同(8合目)：2w, 1 VIII 2001; 雌阿寒岳(5合目)：1w, 25 VII 2001; 忠志橋：1w, 10 VI 2004(北開水工); 同：2w, 16 VI 2004(北開水工); 同：3w, 10 IX 2004(北開水工)。
斜里岳(喜田2003)、雄阿寒岳(益子1996)から記録されている。
39. *Camponotus quadrinotatus* Forel ヨツボシオオアリ
斜里町から記録されている(喜田2003)。

コロニーの観察記録(山根正気氏書簡)

山根正気氏が2009年8月に飯島の案内で行ったコロニーの観察記録。2010年1月21日付け飯島一雄宛書簡より転載する。産地、性別、コロニーコード、営巣環境等の順に表記され、個体数は省略してある。

[調査地及び調査年月日] ニツ山：29 VIII 2009, 茅沼：29 VIII 2009, 塘路：29 VIII 2009, 西別岳：

30 VIII 2009.

[コロニーコード] 正式にはIJ-09-SKY-XX(コロニーナンバー)のように表記するが、データ中ではC-XXと表記した。

(以下、原文ママ)

Formicinae ヤマアリ亜科

Camponotus obscuripes Mayr ムネアカオオアリ

二ツ山：創設♀，C-04(林縁，朽木内)；同：創設♀，C-15(林縁，朽木内)。

これらの記録から、この時期には交尾後の女王がすでに営巣を開始していることがわかる。

Formica japonica Motschoulsky クロヤマアリ

二ツ山：w，C-18(道路の石畳の下)。

Formica lemani Bondroit ヤマクロヤマアリ

二ツ山：w，C-02(林縁，材の下)；同：w，C-23(林内，材と土中)；西別岳：w，C-39(250-650m，登山道脇，朽木中)；同：有翅♀・♂・w，C-48(650-799m，登山道脇，朽木中)。

一つのコロニーで新女王と雄が見られたが、巣の外で飛行しているのは確認していない。

Formica yessensis Wheeler エゾアカヤマアリ

二ツ山：w，C-16(道路脇，小さな塚)。

Lasius japonicus Santschi トビイロケアリ

二ツ山：w，C-03(林内，朽木中)；西別岳：有翅♀・♂・w，C-37 & C-38(250-650m，登山道脇，朽木中)；同：w，C-40(250-650m，登山道脇，コケの下)；同：w，C-42 & C-43(650-799m)。

二つのコロニーから有翅女王と雄が採集されたが、これらは巣内で越冬するものと思われる。

Lasius flavus (Fabricius) キイロケアリ

二ツ山：w，C-09 & C-11(湿地林，スゲの根際土中)。

Lasius umbratus Nylander アメイロケアリ

二ツ山：w，C-12 & C-24(林内，気の根際土中)。

Lasius fuji Radchenko クロクサアリ

塘路：w，C-29 & C-30(木造建築内・同一コロニーの可能性もある)。

このほかに、二ツ山において林内で*L. orientalis*に似た種の4コロニーから採餌ワーカー(C-06，C-10，C-13，C-26)が採集されたが、ここではクロクサアリとして扱っておく。

Mymicinae フタフシアリ亜科

Myrmica taediosa Bolton ツボクシケアリ

西別岳：w，C-41(650-799m，お花畑・石下)。

Myrmica luteola Kupyanskaya オモビロクシケアリ

西別岳：♂・w，C-33(250-650m・登山道脇，朽木中)；同：♂・w，C-44 & C-45(650-799m，登山道脇・朽木中)；同：有翅♀・♂・w，C-46(650-799m，登山道脇・朽木中)。

いくつかのコロニーから有翅女王や雄が採集されたが、結婚飛行中の個体は採集されていない。

Myrmica kotokui Forel シワクシケアリ

二ツ山：有翅♀・w，C-05(林内，朽木中)；同：w，C-07，C-14，C-25 & C-28(林内，朽木中)；同：♂・w，C-08，C-19 & C-20(林内，朽ちた切り株)；同：有翅♀・♂・w，C-21(林内，朽木中)；茅沼：w，C-27(朽木中)；西別岳：有翅♀・♂・w，C-32(250-650m，登山道脇，朽木中)；同：w，C-34(250-650m，登山道脇，朽木中)；同：w，C-35(250-650m，カラマツ林，朽木中)；同：♂・w，C-36(250-650m，カラマツ林，朽木中)；同：有翅♀・♂・w，C-47(250-650m，登山道脇，朽木中)。

平地から低山地に最も普通であったが、西別岳の標高650m以上では見られなかった。登山道脇のササの葉上では採餌個体が多数見られた。巣内では有翅女王や雄が見られたが結婚飛行中の個体は採集されなかった。

Myrmica jessensis Forel エゾクシケアリ

二ツ山：有翅♀・♂・w，C-01(草地，土中)；同：w，C-17(道路の敷石の下)。

林内では見られなかった。

(転載終わり)

採集地の一覧

釧路

釧路市：春湖台、鶴見橋、武佐、安原

阿寒町：阿寒湖畔ボッケ、阿寒川上流、雄阿寒岳、雌阿寒岳

釧路町：細岡

標茶町：開運、茅沼、五十石、シラルトロ、塘路、中オソツベツ、中茶安別、二ツ山、南標茶、雷別

弟子屈町：朝日、硫黄山、砂湯、湯沼

根室

別海町：走古丹、本別海

中標津町：武佐岳

十勝

音更町：千代田 士幌町：士幌新橋

上士幌町：ウペペサンケ山

清水町：清水大橋、剣山

中札内村：上札内、上札内橋

豊頃町：イトイツキ、旅来

本別町：愛のかけ橋、パンケ仙美里川

足寄町：更生、新町、中足寄

網走

北見市：上常呂、金比羅橋、豊地、豊地大橋、無加川、若松大橋

網走市：嘉多山キャンプ場、新橋

紋別市：上渚滑、渚滑町、渚滑橋、中渚滑

端野町：忠志橋 美幌町：大正橋

津別町：達媚橋
清里町：標津岳
置戸町：鹿の子ダム、林友橋
遠軽町：遠軽橋
斜里町：斜里岳
小清水町：止別
上湧別町：開盛橋

圏外

富良野市：学田

参考文献

朝比奈英三. 1969. 標茶原野の昆虫を訪ねて. 釧路市立郷土博物館々報, 199: 1-3.
飯島一雄. 1992. ミズナラにまつわる巨大生物たち. 山つくり. 釧路・根室地域版, 平成3年度: 12-13.
喜田和孝. 2003. 1980年から2001年に斜里町で採

集した昆虫. オホーツクの昆虫, 3: 8-10.
寺山守・久保田敏・江口克之. 2014. 日本産アリ類全種図鑑. 朝倉書店, 東京.
前田惣一. 1959. 厚岸の蟻. 釧路市立郷土博物館新聞, 94: 6-7.
益子嘉隆. 1996. 雄阿寒岳・雌阿寒岳におけるアリ類の垂直分布. Sylvicola, 14: 33-40.
宮下敏幸・生方秀紀. 1995. 釧路市春採湖畔のアリ類と種間社会関係. Sylvicola, 13: 27-36.



写真1. エゾクシケアリの営巣地（標茶町ニツ山）



写真2. キイロケアリの営巣地（標茶町ニツ山）



写真3. ムネアカオオアリの営巣木（標茶町多和町有林）